

○3月の終業式からずっと休んでいます、K自身は自粛生活をエンジョイして過ごしています。

休園期間中、Kに自主性が備わり、いろんな力がついてきたなど、聖母幼稚園での成長を実感しています。

・夜寝る前に、「明日は何をするか」自分で考えて決めています。

・いつになったら幼稚園へ行くか、自分なりに考え、園長先生へお手紙を書いていたのにはびっくりしました。

・休園以降わたしは、子どもたちが寝てから夜中まで在宅で仕事をしており、お恥ずかしい話ですが朝起きられなかったりお昼寝してしまったりすることが続いていました。そんな時Kが、寝ているわたしを起こさず、自分でごはんの用意をしていたのです。パンは丸焦げで、冷凍食品も半解凍だったのですが・・・きちんと弟の分まで用意し食べさせようとしていて、これには感激しありがとうを伝えました。さすがに「キッチンはお母さんと一緒のときしか使っちゃダメ」と注意しましたが、本人は「僕なんでも一人でするし！すごいでしょ！」と満足げな様子でした。

子供の成長を感じる一方で、心配なこともあります。

・頑なに外に出ない

・もともと苦手なお友達とのコミュニケーション力の低下

Kを毎日お散歩へ誘うのですが、頑なに「外に出ない」と引きこもっていて、体力・メンタルともに心配です。理由は定かではありませんが、「コロナウイルスにかかりたくない」「疲れる」「マスクをしていない人や集まっている人がいる」と言っています。

Bさんの終わり頃から、ルールや決まりを守りたい気持ちが大きいようで、ルールを守っていないお友達について「あの子はどうしてルールを守れないの？」と納得できない様子でいることもありました。

今回のコロナでも、「ステイホーム」や「おうちにいよう」をテレビ・ニュースで見えており、守りたいのだと思います。

下の子は散歩へ行きたがるので、Kをお留守番させて行くのですが、ひとりでお留守番させるのも心配です・・・。ちなみにKは、一人での喜びがあるようで、一人でのお留守番も平気です。

そんなKですので、お友達とのコミュニケーション力についても心配です。お友達に会いたい、遊びたいとすら言いません。以前から他のクラスのお友達についても一部のお子さんを除いて「わからない」状態で、今はクラスのお友達の名前すら忘れていた状態です。（Cさんの終わりに転園されたお友達のことは「コロナ大丈夫かな？」と心配していました！特に交流もないのですが、大好きなお友達だったのでしょうか）

Aさんは園生活3年間の集大成となる1年。小学校生活に向けてコミュニケーション力もつけてほしいと思っていたのですが、コロナの第2波や第3波、秋冬のインフルエンザ時期など、また通園できなくなる期間が出てくるのかなどと不安です。今後、うまくお友達を作れるのか、同世代の子どもたちとコミュニケーションを上手に取れるようになるのか心配でなりません。長々と、子供の成長や不安について聞いていただきありがとうございます。（略）

○うちは一人っ子なので家では「あんたが大将」で好き勝手、わがまま放題です。怪我をしたり他人に迷惑かけなければ大抵のことは許してあげましょう、という乳幼児の頃の子育てからいつ頃転換したら良いのかな？！と思いながらずっと来てしまっています。ですので他人との折衝を経験できるAさん生活をとても楽しみにしていましたので、思いがけずこんなことになりとても残念です。子育て講座も概ね参加していますので夢のAさん生活で子供がどんな体験をするのかイメージが沸いていただけに尚更残念でなりません。国や市の対応については私にはどうすることも出来ませんし、頭のいい方たちが考えて決めたことだし今の最善なんだろうし、とあまり考えないようにしているのですが我が家は主人も在宅勤務出来ていますし感染のリスクが少ない状態で生活できることに感謝しないといけなないなと。。

4月に少し行って再び休校になった後に、私の引き出しから子供が「小さな幸せ」の歌詞カードを見つけられました。去年の3月の子育て講座のときに園長先生がAさんのママさん方に向けて贈られたものだったと思います。その歌詞を見て泣けましたが我が家は感染のリスクも少なく皆元気で生活できているのだからまさにこれだなと思い1日1回聞いてました。私は音符が読めませんのでどんな曲か忘れてしまってネット検索したら合唱コンクールで歌っている動画が出てきてそれを見て歌えるようになりました。休校が延長になったときは「小さな幸せ」を歌って自分がそう思うようにすることもしんどくなりました

ので一時期聞いていませんでしたが今は再び聞いています。

子供の様子ですが兄弟がいないので私がずっと相手をしないとけなくてテレビに頼ることが多々あるのですが暇すぎて指吸いが復活しています。そして運動不足により体重が増加しています、、きっと体力も落ちてますね。本当は今頃自活で朝から沢山運動していたはずなのにとすると残念でなりません。本人も自活をするのを楽しみにしていたので多分やっていたのでは？と思うのですが。家で自由に過ごすぎているせいかな C さん B さんの 2 年間でせつかく暖めてもらった A さんへの憧れが薄れてしまったのか先日は B さんでいいか言い出しました。お手伝いはやりたいことはしてくれますがやりたくないときはやってくれないし、私がしんどいときに思いやってくれることもありませんので A さんとして C さんのお世話をすることで思いやりの気持ちを持つことを楽しみにしていたのですが。。子供とずっと過ごしていますので普段何を考えているのか観察しているのですが、家での生活は変化もなく親を思いやる気持ちも見えてこず、、親は最後は許してくれると思っているその自信がすごいなあと感心してしまうくらいですがやり方が下手なのかもしれませんね。さすがに他の人の迷惑になることや悲しませることがダメだということくらいは理解していると思うのですがその対象は親も含まれると早く思って欲しいです。

最終的な子育ての目標は一人で生きていける力をつけてあげることかと思っはいるのですが、まだ今はしんどいことから逃げることしか考えていないので A さん生活で沢山の苦難を乗り越えて成功する体験をして欲しいです。うちの子には誰かのためになんて考えは現時点で全くないですが A さん生活でその部分も養ってもらえたら有難いです。

どれくらい A さんのイベントを経験できるのかわかりませんが再開した際には子供の気持ちを元の状態に戻すのも大変かもしれません。再開してからの対応も大変なことだらけかと思いますが少しでも多くの A さんとしてのイベントを経験させていただけますと嬉しいです。もちろん先生方のご負担にならない範囲で結構です。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

(園長より)

今日のお二人のお母様は、A さんのお母様です。きっと、A さんになったら・・・と楽しみにして下さっていたのでしょ。私も、今年の A さんは、どんな歩みをするのかな・・・と楽しみにしています。「楽しみにしています！」と言ったのは、まだまだ、これからだと思っているのです。C 組、B 組と歩んでこられ、培ってこられたことは、今日に見えないかもしれませんが、これからの日々の中で、きっと生かしていられると思います。子どもが日々の生活の中で身につけたもの、～ができるようになった・・・と目に見えるもの(着替えができるようになった、文字が読めるようになったなど)は、認めたり、成長を感じたりできるのですが、目に見えないこと、その子どもの感性の部分や価値観の目覚めなどは、目に見えないので、本当にわかっているのか、どう思っているのか、と悩んだり、気付かないこともあります。子どもは私たちが思っている以上に、様々なことを吸収していると思います。親は、こうしてほしい、こうなってほしいと願い、一生懸命育てようとするのが、当然のことと思います。でも、それを少しがまんして、「この子は、どのように歩いていくのだろう・・・」と、その子らしく成長していくことを信じて待つことができると、少し楽に子育てしていけるかなと思います。あくまでも自論ですが。

小さな幸せ・・・この歌は、いつも卒園していくお母様方に、差し上げた歌でした。私はこの歌がこの聖母幼稚園のお母様方のテーマソングのような気がしていつも 3 月の最後の子育て講座と一緒に歌うのです。そういえば、今年は歌えなかった・・・ごめんさない・・・卒園された皆様。今、この苦しい時にこの歌詞は心に刺さりますね。いつも喜んでいなさい、いつも感謝しなさい・・・と問われるのです。でも、神さまのみことばです。新しいお母様に歌詞をお伝えしましょう。

♪ 小さな小さな幸せは 小さな小さな喜びから いったって どこだって みつかるよ 小さな喜び
神さまが教えてくれた いつも喜んでいなさいと 小さな幸せは ほんとは 大きな幸せ
小さな小さな幸せは いつでもいつでも感謝から どんな事が 起ころうと 忘れないで感謝
神さまが教えてくれた 心あたたまる方法 小さな幸せは ほんとは 大きな幸せ ♪

またいつか、この歌をみんなで歌いましょうね！